第42回全日本バレーボール小学生大会香川県大会
審判関係注意事項

香川県小学生バレーボール連盟
審判委員長　　長尾　宗之

2022（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び、小学生バレーボール競技規則を適用する。

1）　レフェリー及びコートオフィシャル

レフェリーのうちファーストレフェリー・セカンドレフェリーについては、当連盟審判委員会を中心とした公認審判員及び出場チーム推薦審判員で行う。
出場選手は、コートオフィシャル（スコアラー・ラインジャッジ・点示員）を担当し審判運営に参加する。
コートオフィシャルとしてフロアに滞在する時は必ずスクイズボトルを持参し、試合選手と同じタイミングで水分補給ができる準備をしておく。
レフェリー・コートオフィシャルの割当については、当連盟が割当てる試合を担当するものとし、合わせてそれぞれ必要人数を選出して審判運営を行う。

2）　服装

ベンチにおける監督・コーチ・マネージャーの服装は統一し、各マークは左胸に付ける。
選手のユニフォームは、ジャージ・パンツ・ソックスを統一し、チームキャプテンにはそのマークを規定のサイズで胸部の番号の下に付ける。
（男女混合のカテゴリーは男女別のユニフォームが望ましいが、しかし同じも認める。）
袖のないユニフォームは、選手の安全性を考慮し禁止とする。
ベンチスタッフ・選手共、シャツの裾は必ずパンツの中へ入れること。
その他、日本小学生バレーボール連盟の定めるユニフォーム規定に従うこと。

3）　コートワイピング

チーム毎に、必ずワイピング用のスモールタオルを複数枚（6枚以上）用意しておくこと。
試合中、コート内の選手（できれば6名）はスモールタオルを携行し床が濡れたときは速やかにワイピングを行う。
モップの使用については、基本的にタイムアウト時とテクニカルタイムアウト時、セット間のみとする。

4）　男女混合

男女の割合に十分注意し、選手交代の際はその割合を守って交代要求を行うこと。
（男女に関係なく選手交代はできる。）
ユニフォームによっては男女区別の為、大会運営側又はレフェリーの判断により試合毎にマークを付ける様、指示をする場合がある。

5）　グリーンカード

子供達の健全育成を目的としたグリーンカードを適用する。
各チームにおいて、その趣旨を十分理解した指導と、グリーンカードを示された後の良いフォローでより良い環境をつくる。
グリーンカードによって、歓声の沸く大会にしましょう。

6）　その他

ベンチスタッフは、試合中ベンチ内の行動に十分気を配るとともに、試合の前後はベンチスタッフとレフェリーの間で互いに感謝をもって挨拶を交わす。
今年度より改正になったルールや取扱いに十分注意して試合に臨むこと。
担当レフェリー・チームスタッフ・保護者等全体で、試合中の事故やケガの防止、選手の健康管理に努めること。